



あけまして
おめでとぅいぎいます

なな山緑地の会は活動を始めて今年で14年目を迎えました。昨年一年間の活動は一昨年と比べて特に目立った点はなく穏やかな一年でした。

変化といえばエンジン付運搬車を導入し、以前なら切り倒した木はその場所に置いたままでしたが、それを広場まで降ろすことができるようになりました。

また、多摩第二小学校の児童による自然体験学習授業が行われ、さらに恒例の「なな山で遊ぼう」では100数十名の児童、保護者がなな山を訪れてくれました。

畑では、例年の倍近くの里芋の収穫があり、シイタケ、ナメコも豊作でした。

加えて昨年は、一般の活動とは別に、首都大学東京にある牧野標本館の加藤英寿先生の指導のもと、なな山の植物標本を作り寄贈し「東京都植物誌」の刊行と植物学の基礎研究に寄与することを目指す「なな山緑地の会植物標本プロジェクト」が中原さんを中心に3月からスタートし、263点の標本を納めることができました。これは、今年も続けられます。

もう一つは相田さんを中心に2014年11月からスタートした樹木調査で、昨年1月に終了し、なな山の樹木2032本が確認されました。

このように、通常の活動とは別にこれからも、色々の分野での活動が期待されます。

今年が怪我、事故のない一年でありますようお願いしております。最後に、みなさまの暖かいご支援とご理解をお願いしてご挨拶とさせていただきます。

2017年1月 なな山緑地の会会長 高木 直樹

制作：植物標本プロジェクト



南鶴牧小学校のなな山観察会

松澤 朋子

暑さも収まってきた10月10日、秋の始まったなな山緑地に集まった南鶴牧小学校の子供たち。今年度3回目のなな山観察会に、私は1年生の息子と参加させていただきました。初めて観察会に参加したのは息子が年長の頃だったのですが、小学校に上がった息子が観察会の手紙をもらってくる度に、トトロに出てくるようなあの山に、どうしても、もう一度連れて行って欲しいと懇願するので、参加することとなりました。

相田さんのご案内により、いつものように様々な植生の雑木林を歩きます。広葉樹の多い雑木林、アズマネザサの山、針葉樹の多い雑木林、なな山緑地は様々な顔を私たちにを見せてくれます。子供たちはどの場面でも飽きることなく、弾む足取りで相田さんに着いて行きます。様々な植生の違

いを、子供たちは自然と体で感じ、まるで相田さんと分かち合っているように見えたのがとても印象的でした。

途中で息子は、ナナフシを見つけることができました。その顔はとても嬉しそうでした。立派な夏大根をお土産にいただき、ありがとうございました。

1年生の参加は息子だけで、散策時の体力面を心配してい

ましたが、これからはずっと観察会に参加したいと話す息子に、仕事を理由に断り続けていた私は、大いに反省したのでした。



なな山で遊ぼう 2016 活動報告

多摩第二小学校 おやじの会 峰岸 博一

「なな山で遊ぼう」行事は子供も大人も楽しむビックなイベントです。毎年大勢の参加者ですが、今年はなんと！！約 240 名（子供たち、父母、PTCA のお母さん有志、おやじの会の一部）の過去最多の大所帯になりました。当然おやじの会も盛り上がり、居酒屋に集合して夜遅くまで打ち合わせを行い、いい年のおやじがワクワクしながら色々な事を考えました。そんな中、滑車を使ったターザンロープをやりたい！と熱い思いで語る一人のおやじ、一同一瞬沈黙するが「やるかー」、「やろうよ」・・・とさらに勢いを加速してしまう事に！今年はこの滑車を使ったターザンロープが新たな遊具に加わりました。

今年の遊具は次の通りです。 ●滑車を使ったターザンロープ (NEW) ●1本の長いロープを太い木の枝の高いところにかけて作ったターザンロープ ●ロープで作ったブランコ ●1本のハシゴを4個連結して杉の木に固定したハシゴ登り(地上6メートル程の高さ) ●落ち葉をたくさん集めて作ったソリの滑走場(ゴールは大量の落ち葉にダイブ)。

12月18日当日を迎えました。おやじたちは朝8時に二小に集合、それぞれの分担保確認、道具や備品の準備をして9時30分、子供たちの集合時間を待ちました。一人、二人と子供たちが集まり始め受付をしていると、キラキラ眼で早く遊びたい！！と言わんばかりの笑顔。みんないい顔していました。全員集合、朝礼を済ませてなな山に向け歩いて出発。なな山に到着して、会長さんからのご挨拶、注意点のお話を聞いて「なな山で遊ぼう 2016 スタート！」。準備していた遊具に向かう子供たち、ワクワク、ドキドキが伝わってきました。遊具以外の体験や工作品を次に紹介します。

●クズのつるで作るクリスマスリース ●木工細工 ●丸太ぎり ●弓矢作り。材料は、なな山緑地内で調達し、会員の皆さんがご指導して下さいました。完成品のクオリティーの高さに驚きました(.....これ、売り物か?.....って感じ)。
●カブトムシの幼虫採取。これは会員の皆さんが、日頃より枯葉を集めて育てたカブトムシの幼虫を採取させていただきました。見たこともない大きな幼虫に一瞬びっくりしたものの、スコップで丁寧に土をかき分けて、一匹一匹を探しながら取って、各自持参した虫かごに入れ持ち帰りました。立派で元気なカブトムシに育つことを祈ります。大きな声出し、キャーキャー言いながらターザンロープに乗る子供たち、真剣に工作する子供たち、緑地内を探検する子供たち、一緒に遊ぶ父母、みんなが楽しく元気に遊んでいます。

お昼の時間になり、持参したおにぎりやお弁当を仲良しグループや家族で集まって、お母さんたちが作ったあったかいけんちん汁をもらって食べました。けんちん汁をおかわりする子供たち、アツという間に完食です！おやじが初めてチャレンジした「焼き芋」は食後のスイーツ？として出しました。抜群の出来上がりでメチャクチャ甘い！これもアツという間に完食でした。天気も良く、いっぱい遊んで腹ペコだったので、「なな山の緑の中で食べる食事は最高！」(2年生の男子より)。14時半過ぎ、終了の時間になりました。後ろ髪を引かれる思いですが、集合写真を撮って、なな山緑地の会の方々やPTCAのお母さん方にお礼を述べて二小に帰りました。普段の生活圏内なのに様々な体験や経験ができる、何よりみんなが楽しめる、そんな「なな山緑地」で今年もいい時間を過ごしました。一人一人に様々な思いを刻めた一日だと思います。事故、トラブル、ケガもなく、無事に終了できました。有難うございました。



佐々木宏治さんを悼む

住崎岩衛

同級生の佐々木宏治さんは、昨年「なな山の活動」にご夫婦で参加し、マイ道具を揃え毎回楽しみにしていました。彼の突然の訃報は、大変残念でなりません。

在りし日のお姿を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。



収穫したスイカを味わう
佐々木さんご夫妻



カマを研ぐ佐々木宏治さん

「森を守る」ことに簡単な答えはないようです

飯田 歩



初めてなな山緑地の会の活動に参加させていただいたのは、1年前の10月4週目の日曜日でした。前日の土

曜日にはグリーンボランティア初級講座の修了証書をいただいたばかりでした。

私がグリーンボランティアに参加するきっかけは、近所の森を後世に残していきたい、子供に自然の大切さを伝えていきたい、そして守って行って欲しいと思ったからです。しかし私自身、森のことは何も知りません。では「森を守る」とはどういうことなのか。それは自分が実際に体験して、感じたことを伝えることだと思ったからです。

この一年なな山でさまざまな体験をしました。山に入った時の空気の冷たさや真夏に木陰で感じる心地良い風、山の急な斜面を歩く時の緊張感、太い枯れ木を切り倒す時の音、その生木の重たさなどです。山は普段暮らしている安全な場所とは違います。枯れ枝が落ちていて足に引っ掛かることもあります。雨が降ったあとはいつも歩く小道が川のようになっていてぬかるんでいます。木々が覆いかぶさるように茂っている場所は昼間でも暗い。勢いよく歩いていて大きな蜘蛛の巣にひっかかりびっくりしたこともあります。自然について本やテレビからたくさん情報は得られますが、こういう体験はそれらでは伝えきれないところだと思います。また入会した頃、なな山では樹木調査が行われており早速、初級講座で習ったばかりの調査方法を実践するチャンスでした。普段活動する場所はきれいに手入れされています。調査を体験してみないかと言われ喜んで「ハイ」と付いていった調査場所は自然のままの場所でした。自然のままの場所は感じたまま伝えると「すごい場所」でした。背丈ほどある笹を両手でかき分け、足元が見えない斜面を用心しながら下り、ようやく目的の調査する樹木にたどり着くといった状態です。入会して間もない私はなな山にはこんな場所もあることを知る貴重な体験となりました。

なな山で活動される方々は山や草花、畑などなど詳しい方がたくさんいて、いろいろ教えてもらえます。自然だけでなく時には人生の先輩から大切なことを教わることもあります。「森を守る」ことに簡単な答えはないようです。これからなな山を大切に想いながら活動を続けていき、それがさまざまな体験を伝えることに繋がっていけばと思います。

てっぺん童子（わらし）

永田美夫

大抵の山の樹冠にはてっぺん童子がいる。

人には見えない。ごくたまに、小さな子供がその姿を目撃することがあるが、まわりに相手にされないでいるうちに、いつしか見たことも忘れてしまう。

何のためにてっぺん童子は存在するのだろうか？それは本人にもわからないし、まわりにもわからない。

てっぺん童子は、なんにもしない。

病にかかった樹木の面倒を見ることもないし、タヌキやモグラが傷ついて苦しんでいても、手を差し伸べることもない。

晴れた日には一日中、樹冠の上で空を見上げ、さまざまに形を変える雲を眺めていたり、風の強い日には激しく揺れる木の葉にしがみついて、ロデオ乗りを楽しんだりする。てっぺん童子の苦手は雨降りである。

そんな日には、木の洞をみつけてもぐりこみ、一日中じっとしている。濡れたからといって別にどうということも無いのだが、嫌いなものは嫌いというほかはないようだ。

秋が深まり、落葉樹の葉達は黄色に赤に、色づき始めた。「離層」によって樹木本体から切り離され、水分や栄養分の供給をカットされた葉達は、土に還る準備を始めたのである。

「そろそろお別れだね」と、てっぺん童子が話しかける。

「うん、そうだね」と、葉達が返す。

「君たちは地面に落ちたら、どうなるの？」

「ちいさな虫や、もっとちいさな生き物に粉々にされてしまうのさ」

「ふうん、それから先はどうなるの？」

「うんとうんと小さくなって、いろんな生き物の体の一部になるのさ。虫や花や、草や木や、ひょっとしたらもう一度この葉っぱになれるかもしれないねえ」

「ふうん、いろんなものになれるんだねえ、うらやましいな、僕もいろんなものになりたい」

「君はずっとてっぺん童子さ」

「どうしてだい？」

「君は死なないからさ」

葉達は散ってしまった。独りになったてっぺん童子は退屈である。

もしもあなたが森を散策中に頭の上にドングリが落ちてきたら、それはてっぺん童子のいたずらかもしれない。

くれぐれも、ヘルメット装着を忘れずに。



なな山日記 (活動・観察記録)

<p>No.299 2016年 8月28日(日) 曇り/小雨 気温21℃ 参加者 21人 台風の影響で午前中のみの活動。 ● 作業/ 交差点付近のり面草刈り、歩道沿いの草取り。スイカ・カボチャの収穫。落ち枝の片づけ。クズ蔓の除去。 ● 観察/ヤブラン。</p> 	<p>No.300 2016年 9月11日(日) 晴れ 気温25℃ 参加者 25人 天気予報に反して気持ちの良い晴れに。倉庫周辺にアシナガバチが 30 匹ほどたむろしてるのを発見。活動前に除去する。 ● 作業/のり面と歩道の草刈り・クズの蔓除去。畑の施肥・ダイコンの種まき。完成した標本のまとめと採取。 ● 観察/トキリマメ、シラヤマギク、タマゴタケ、シロオニタケ。</p>
<p>No.301 2016年 9月25日(日) 晴れ 気温25℃ 参加者 21人 しっかりしたテーブルが完成した。道路沿いの草むしり作業中、近隣の方からは「きれいにしてもらって助かる」と労いの言葉を頂いた。 ● 作業/道路沿いの草刈り。テーブル脚の組立てと設置。のり面のカヤ刈取りと草刈り。標本用植物の採取。 ● 観察/キバナアキギリ、クサギの実、ヒガンバナ、ヨウシュヤマゴボウの実。</p>	<p>No.302 2016年10月16日(日) 曇り 気温17℃ 参加者 17人 先週の活動日が雨だった為、振替えの活動日となった。 ● 作業/のり面の草刈り・刈草の片づけ。タカノツメの収穫。ダイコンの間引き・土寄せ。 ● 観察/カシワバハグマ、キチジョウソウ、ヤクシソウ、サワガニ。</p> 
<p>No.303 2016年10月23日(日) 曇り 気温22℃ 参加者 23人 ラッカセイの収穫と試食。サクラの丸太(210kg)をログミルで二つ割にした。 ● 作業/西の山下草刈り・刈り草集め。ラッカセイの収穫、ダイコンの間引き。枯れ木の伐倒。 ● 観察/オケラ、コウヤボウキ、シロタマゴテングダケ。</p> 	<p>No.304 2016年11月13日(日) 晴れ 気温18℃ 参加者 20人 秋日和で気持ちよく作業できた。重い材を運ぶのに運搬車が毎回活躍。中山さん入会。 ● 作業/サツマイモの収穫・試食。西の山草刈り。ログミルで材の平切り・運搬、落ち枝拾い。シガラ作り。住宅地公園の木の処理。 ● 観察/イヌタデ、タカノツメ。</p>
<p>No.305 2016年11月27日(日) 晴れ/曇り 気温12℃ 参加者 21人 サトイモが大豊作で親芋から子芋、孫芋まで豊富な収穫だった。 ● 作業/サトイモの収穫・整理。平切り材の運搬。道路の落葉清掃。西の山草刈り。 ● 観察/ナメコ。</p> 	<p>No.306 2016年12月11日(日) 晴れ 気温12℃ 参加者 30人 なな山にある木を組みシガラを作った。景観がよくなる。落葉で辺りは枯れ葉の絨毯になった。 ● 作業/堆肥を畑に移す。道路の落葉集め。シガラ作り (2 か所)。テーブル作りの準備。スギ、ヒノキの伐採。 ● 観察/ヒイラギ、マンリョウ、シロミノマンリョウ。</p> 

なな山で行われたイベント

10月10日(月) 南鶴牧小学校なな山緑地活動
11月6日(日) グリーンボランティア連絡会めいかいづくり講座
11月22日(火)・25日(金) なな山観察会 多摩第二小
12月1日(木) なな山緑地学習 多摩第二小
12月17日(土) グリーンボランティア連絡会主催「大きな樹を巡る」
12月18日(日) 多摩第二小「なな山で遊ぼう」おやじの会主催
12月24日(土) 東寺方小青少協どんと焼き用シガラ採取
9月～12月第2、第4(火) なな山めかいワガ・木工

なな山だより 第39号 2017年 1月 8日発行

発行 なな山緑地の会
発行責任者 高木直樹
住所 多摩市和田 1394-13
ホームページ <http://www.geocities.jp/nanayamaryokuchi/>
編集委員 鎌田文雄 中原君代 飯田歩